

重点施策点検・評価表

1-1

基本目標			
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実		
重点施策			
1	安全・安心で快適な学校生活のための教育環境の整備充実を図る		担当課(館)
	① 公共施設等総合管理計画の方針を踏まえた、個別施設計画の策定		教育総務課
	活動内容	学校系施設は、大規模改修が必要となる30年以上経過した施設が76%を超え、将来的な人口減少や少子化の進展を見据えた、個別施設計画により将来的な在り方を策定する。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 目標であった、「個別施設計画」は、教育委員会全ての施設を対象に計画どおり策定された。 学校については、現在、学校教育環境適正化検討委員会が立ち上げられ、校舎やプール等の在り方が平成30年12月までに答申される。今後、その状況を踏まえ、個別施設計画の見直しを行う。	
	課題等	学校施設の改修に文部科学省の補助金を活用するためには、策定された計画内容を充実させる必要があるため、平成30年度に改正版を策定する。	取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	個別施設計画は、将来どのようなニーズが発生してどのように市の動きが変わっていくかという、予測しなければならない見えない部分も含めて策定したと思うが、適切な実施に向けて努力してほしい。見直しは大変難しい作業だと思うが、学校教育環境適正化検討委員会の答申内容を踏まえて頑張っていたいただきたい。	
	② 学校改修工事等による教育環境施設の充実		教育総務課
	活動内容	・建設後25年以上経過した小中学校が25校中21校と8割を超え、学校施設の老朽化対策を講じなければならない時期にきている。 ・各学校の改修、修繕が必要な事項の調査により、小規模から中規模のものは改修内容の分類、必要工事費総額を算出し、計画的に工事を実施する。 ・大規模改修は多額の事業費となることから、地方財政措置のある国庫補助事業(長寿命化改良事業)の実施を見据えて、個別施設計画を踏まえた年次計画で実施することとし、平成30年度から事業着手を可能とする。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 学校の改修・修繕については、学校要望なども考慮した上で、緊急性の判断と優先順位により学校運営に支障が出ないように対応した。PTA等からの改修要望等は、約35%の改修に留まったが、今後も早期解消に努める。 大規模な改修が必要なものは、国の補助金が充当される大規模改修事業(長寿命化)での実施に向け、補助要件内容の確認をした。来年度は、本年度作成した「個別施設計画」の内容を充実させ、補助採択要件となる予定の計画書を策定する。	
	課題等	将来的な人口減少や少子化の進展が避けられず、現在の施設保有量のままでの維持管理は困難な状況にある。 しかし、地域において学校はコミュニティの要であり、少数児童生徒による授業環境のメリットもある。現在検討を進めている学校教育環境適正化検討委員会の答申を踏まえ、将来的な在り方を定める必要がある。 個別施設計画の策定は、学校適正配置計画との調整、施設の劣化状況の調査、構造躯体の健全性、今後かかる維持・更新コストなどを反映させ、市単独事業費での実施は財政状況が厳しいため、国庫補助金を活用する手法で計画する。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	財政が伴うことであり、予算が潤沢でない状況から、目標を大幅に下回る評価(80%未満)に止まっていることには理解できる。改修等の要望については、子ども自体の目線につながっているかどうかの配慮も必要。人口減少、少子化など社会の推移を考えながら取り組みを進めてほしい。難儀な施策ではあるが、一つでも二つでも前進するように頑張っていたいただきたい。	

重点施策点検・評価表

1-2

基本目標	
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実
重点施策	
2	健康維持増進の場としてのスポーツ、レクリエーション施設の整備充実に努める
	担当課(館)
	① 新たなスポーツ、レクリエーション施設の整備
	教育総務課
活動内容	二ツ山総合公園への幼児・児童を対象とした新たな施設整備工事の実設計、花岡総合スポーツ公園(仮称)では、市民プール代替え施設、一部先行活用施設の改修工事等を完了し、市民のスポーツ施設の確保、交流人口の増加と地域の活性化に繋げる。
点検評価	<p>■目標を上回る □目標どおり □目標をやや下回る □目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>二ツ山総合公園幼児エリア整備事業については、公園整備計画に基づき、6月議会で造成工事費を補正予算措置し工事を発注した。また、休憩施設等の建物についても実設計を進め、12月議会で予算を措置し、年度内に業者と契約を締結した。 平成30年7月までに工事を完了させ、親水広場や休憩施設等は、30年夏に間に合わせて一部供用開始することが確定した。 また、30年度予算にベンチ、遊具、樹木など植栽を含む公園整備工事費を予算措置し、残る整備は30年度発注で12月までに全体エリアの整備が完了する目途が立った。</p>
課題等	<p>今後は、幼児の利用にあたって安心して安全な施設が整備されたことを周知し、有効活用されるように努める。</p> <p>取組の方向性</p> <p>■ 継続 □ 廃止検討 □ 単年度</p>
学識経験者等の意見	新しい施設ができると利用者が増えることにより、利用する幼児・小学生の安全面を考える必要性が生じる。指定管理者の選定においてもそれら安全管理を考慮する必要がある。各施設整備工事は当初の計画よりも早く進められており、職員の尽力の跡が見える。今後は、施設ができたことを広く周知して、子どもたちが楽しんで育つ環境として機能することを期待したい。
	② 適切な施設補修の実施
	教育総務課
活動内容	長根山陸上競技場の公認認定に向けた改修工事、比内体育館トイレ洋式化工事等、各施設の快適性、安全性、美観等に配慮した計画的な整備・補修を実施する。
点検評価	<p>□目標を上回る ■目標どおり □目標をやや下回る □目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>長根山陸上競技場については、第2種公認競技場検定に向けた走路改修工事を6月に発注し、9月末で完了させた。同時に、公認認定検定も無事通過し、9月12日付けで公認競技場として継続認定された。 また、インバウンドの受け入れやスポーツ合宿の誘致促進に向け、比内体育館のトイレ洋式化工事を行った。 その他、各スポーツ施設8件の修繕・改修工事を行い、快適で安全な施設整備に努めた。</p>
課題等	<p>スポーツによる交流人口の拡大やインバウンド受け入れ施設として、トイレ洋式化や施設の充実・改修を、今後も計画的に実施する必要がある。</p> <p>取組の方向性</p> <p>■ 継続 □ 廃止検討 □ 単年度</p>
学識経験者等の意見	陸上競技場を完成させ、公認競技場として認定されたことが何よりである。トイレの洋式化は時代の流れと思われ、これからは施設の改修は時代のすう勢に合わせて対応してほしい。

重点施策点検・評価表

1-3-1

基本目標			
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実		
重点施策			
3	豊かな人間形成の場としての社会教育施設等の整備充実に努める		担当課(館)
	① 市民文化会館の大規模改修事業の実施		教育総務課
	活動内容	平成20年度から年次計画で実施している文化会館大規模改修事業に外壁改修を追加し、本年度は初年度工事を実施する。同時に、駐車場不足などの残された課題があることから、新たな事業計画の策定を含め課題解決に取り組む。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 一昨年12月にタイル外壁の一部剥落事故が発生し、緊急の外壁調査と改修実施設計を発注し、年次計画に追加するとともに、本年度、全てのタイル外壁部分を改修する第一期工事を完了した。これにより、事故原因となったタイル外壁部分の安全確保が図られた。 平成30年度は、第二期工事として未改修である塗装吹付け壁の工事を予算措置した。30年10月末に完了する見込みで、このことにより建物外壁全ての改修が完了し、快適性と安心・安全性を向上させたことになる。 課題となっている駐車場不足や前広場の改修は、緑地の駐車場化や民有地空き地等の活用を再検討する。	
	課題等	第二期外壁改修工事を、貸館に極力影響の出ないように確実に実施する。 また、駐車場不足などの残された課題の解決に向け、近隣公共施設との敷地活用調整や費用対効果の検証により、取り組む必要がある。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	市民文化会館の風格を備えたままの工事は難しいと思っていたが、よく工夫して行われていた。駐車場不足については、民有地の活用にも目が向けられていて、解決に向けての選択肢の一つと考えられる。会館の利活用を潤沢にするためには駐車場問題は避けて通れないことであり、民有地活用の戦略を練りながら市民の要望に応えられるよう進めていただきたい。	
	② 中央公民館等の社会教育施設の維持管理		教育総務課
	活動内容	中央公民館渡り廊下防水工事他の実施により、社会教育施設の良い施設環境の維持を図る。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 中央公民館渡り廊下防水工事や郷土博物館非常用照明器具交換工事、釈迦内児童センター床カーペット張替え工事など、社会教育施設の良い環境整備に努めた。 また、竹村記念公園の都市公園移行に向けた施設整備工事を実施し、10月から神明児童公園として活用が開始した。 そのほか、年度中に発生し緊急性のある工事について、補正で予算を確保し年度内にすべて完了させた。	
	課題等	本年度策定された、公共施設等総合管理計画の「個別施設計画」では、現在使用中の施設は、全て当面活用となっていることから、目的に沿った施設の整備・充実に努める。また、有効かつ活発に活用されるよう取り組む必要がある。 矢立公民館は、旧学校を転用した初めての事例となった。今後、施設統廃合による空き公共施設が増加することから、今回の事例を参考とし、有効活用に向けて積極的に既存施設を転用した利活用の導入を図る。	取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	年度途中に発生した予定外の工事への対応は、施設維持に対する教育総務課の積極的な姿勢が表れている。矢立公民館は旧学校を転用した活用事例となったが、これを参考に、有効活用のモデルになるようなプランを作りながら今後も進めていただきたい。なお、竹村記念公園が児童公園として利用できるようになったことを、もっとPRしても良かったのではないか。		

重点施策点検・評価表

1-3-2

基本目標	
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実
重点施策	
3	豊かな人間形成の場としての社会教育施設等の整備充実に努める
	担当課(館)
	③ 社会教育施設の耐震対策事業の実施
	教育総務課
活動内容	耐震性能が判明していない市民文化会館、郷土博物館の耐震調査を実施し、結果により補強工事を実施する計画を策定し、早期に工事を実施し利用者の安全を確保する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 市民文化会館及び郷土博物館が、地震による倒壊の恐れが無いか耐震診断を実施した。その結果、郷土博物館が耐震性能を有していないことから、財源の国庫補助金を確保するとともに、工事費を12月補正予算で確保した。耐震補強工事を平成30年9月上旬までに完了させ、今後の利用者の安全が確保できることが確定した。
課題等	来館者への工事期間の周知と、入館料の減免、安全対策を行う。今後も積極的な活用を図る。 取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	主要な施設の耐震性能の確保は、安全で安心な利活用の大前提である。このことを考えながら進めるとい基本的な方向性を堅持してほしい。国庫補助金の財源確保ができたのは、積極的な活動の成果であると思う。
	④ 交流人口拡大に向けたニプロハチ公ドームの活用
	教育総務課
活動内容	ドームの更なる活用による交流人口の増加を図り、地域の活性化に繋げるため、指定管理者及びネーミングライツ・パートナーと連携し、新たなイベントを創造する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 長年、市議会や市民から切望されていたドームでのコンサート開催実現に努め、16年ぶりに30年5月の開催が決定した。 複数の歌手によるフェスティバル方式とすること、また、今年度導入したネーミングライツ料収入を財源とすることを議会に丁寧に説明し、併せて市民への情報発信により理解を得たことにより、関係予算を30年度当初予算に措置して、5月4日のコンサート開催が実現した。 1月23日からチケット販売を開始し、前売りは順調に推移しているが、コンサート成功に向け、関係者や議会、販売店などへの販売に努めている。
課題等	16年ぶりのコンサート開催であり、今後の継続開催の試金石となることから、成功に向け努力する。また、ネーミングライツパートナーとの連携による野球大会など、あらゆるイベントの開催を模索し、今後の新たな展開を図る。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	チケットが完売するようなイベントを市民に提供できたことを大きく評価したい。販売数の予測がつかない中で、あえて開催にチャレンジし、市民にも心の潤いを与えることができた。イベントをやることは業務の負担になることだが、市民のためにと前向きにとらえて取り組んだことで、結果を出せたと思う。

重点施策点検・評価表

1-4

基本目標			
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実		
重点施策			
4	大館の教育の理念と実践について、市民の周知と全国への発信に努める		担当課(館)
	① 教育委員会施策の情報発信の強化		教育総務課
	活動内容	<p>・教育委員会会議に、施策やその実施状況の報告等を的確な時期に行い、協議・討議を諮り、ホームページ等で議事録を公表する。</p> <p>・総合教育会議の議事録、教育委員会点検評価の公表など、教育委員会の活動が市民に理解されるよう努める。</p> <p>・開かれた教育委員会としてより透明性を図るため、ホームページの他、定例記者会見や報道機関への取材要請などを活用し、情報発信をより積極的に行う。</p>	
	点検評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/>目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>総合教育会議及び教育委員会会議の議事録をホームページで公表し、教育委員会の活動内容の透明化を図った。</p> <p>また、教育委員会の重点施策の点検・評価について、学識経験者の知見を活用して実施事業の客観性を確保し、公表することにより内容充実に努めた。</p> <p>さらに、ホームページを活用した施策・事業の周知を図るとともに、定例記者会見や報道機関への取材要請などで積極的な情報発信に努めた。</p>	
	課題等	<p>常に最新情報の発信と、内容の整理・更新を行う。</p> <p>ホームページ閲覧者に、分かりやすく利用しやすい環境とする。</p> <p>大館の教育の理念と実践について、市民への周知と全国への発信が必要である。</p>	<p>取組の方向性</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止検討</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度</p>
学識経験者等の意見	<p>ホームページ作成の労力は大変だと思う。実際に教育委員会のホームページを見て、大館の教育を全国に発信しているということが分かった。大館市の教育活動が全国から注目され、リーダー的な存在となっていることを、市民として誇りに感じている。公表することは自信がないとできないものであり、自信ある教育行政の自負が感じられた。</p>		
活動内容			
点検評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input type="checkbox"/>目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p>		
課題等			<p>取組の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 継続</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止検討</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度</p>
学識経験者等の意見			